

MITSUBISHI 三菱電機パッケージエアコン別売化粧パネル フィルター自動清掃ユニット据付工事説明書

安全のために必ず守ること

- 据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法、お手入れの仕方等を説明してください。
- また、この据付工事説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

⚠警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。 ●お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。	配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。また、途中接続は絶対に行わない。 ●接続や固定が不完全な場合や、途中接続の場合は、発熱・火災等の原因になります。
据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に進行。 ●据付けに不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。	据付けや移設の場合は、冷媒サイクル内に指定冷媒以外のものを混入させない。 ●空気などが混入すると、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。 ●指定冷媒以外を封入すると、機械的不具合・誤作動・故障の原因となり、場合によっては安全性確保に重大な障害をもたらす恐れがあります。
台風などの強風地震に備え所定の据付工事を行う。 ●据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因となります。	加湿器など別売品は、必ず当社指定の部品を使用する。 ●取付けは専門の業者に依頼してください。ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。
据付けは、重量に充分に耐えるところに確実に進行。 ●強度が不足している場合は、ユニットの落下などにより、事故の原因になります。	改造は絶対にしない。 ●修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。 改造したり修理に不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。
小部屋に据付ける場合は万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策を行う。 ●限界濃度を超えない対策については、販売店にご相談ください。 万一、冷媒が漏れて限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。	お客様自身で塗装はしない。 ●性能を著しく低下させたり、部品破損等の原因になります。 塗装は、お買い上げの販売店にご相談ください。
作業中に冷媒が洩れた場合は、換気する。 ●冷媒が火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。	お客様自身で移動・再据付けはしない。 ●据付けに不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。 お買い上げの販売店または専門業者にご依頼ください。
電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及びこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路としかつ定格の電圧・ブレーカーを使用する。 ●電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。	設置工事終了後、冷媒が洩れていないことを確認する。 ●冷媒が室内に洩れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。
室内外ユニットの端子盤カバー（パネル）を確実に取付ける。 ●端子盤カバー（パネル）取付けに不備があると、ホコリ・水等により、火災・感電の原因になります。	

据付けをする前に（環境）

⚠注意

特殊環境には使用しない。 ●油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所、海浜地区など塩分の多い場所、積雪により室外ユニットが塞がれるところに使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。	精密機器・食品・動植物・美術品の保存等特殊用途には使用しない。 ●保存物の品質低下等の原因になることがあります。
可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れの恐れがある場所へは据付けない。 ●万一ガスがユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になることがあります。	濡れて困るものの上にユニットを据付けない。 ●湿度が80%を越える場合やドレン出口が詰まっている場合は、室内ユニットからも露が落ちる場合もあります。また、暖房時には室外ユニットよりドレンが垂れますので、必要に応じ室外ユニットも集中排水工事をしてください。
病院、通信事業所などに据付けられる場合は、ノイズに対する備えを充分に行う。 ●インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤動作や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になることがあります。	

PLP-U160C*
PLP-P160BWFC*
PLP-P160BWEC*
PLP-P160BWC*

(フィルター自動清掃ユニット)
(フィルター自動清掃人感ムーブアイパネル)
(フィルター自動清掃ムーブアイパネル)
(フィルター自動清掃パネル)

次の場所では、使用しないでください。

フィルター自動清掃を行ってもホコリが十分に取れず、故障の原因になることがあります。

- 油煙が発生するところ(飲食店、調理器がある小売店、工場など)
- 湿気の多いところ(飲食店、銭湯やスポーツ施設の脱衣場・更衣室、工場など)
- タバコの煙を多く吸込むところ(パチンコ店、喫煙所、ゲームセンター、カラオケ店など)
- 特殊なスプレーを頻繁に使用するところ(美容室、理髪店など)
- その他(粉塵が多量に発生する場所、人の出入りや扉の開閉が多いところ)

また、24時間空調の場合、1日1回約10分フィルター自動清掃のために空調運転を停止します。厳密な温度管理を必要とする用途での使用は避けてください。

据付け(移設)工事をする前に

⚠注意

製品の運搬・据付けは充分注意して行う。

- 20kg以上の製品は原則として2人以上で行ってください。PPバンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。素手で部品端面やフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

梱包材の処理は確実にを行う。

- 梱包材には「クギ」、等の金属あるいは、木片等を使用していますので放置状態にしますとさし傷などのケガをする恐れがあります。

冷媒配管の断熱は結露しないように確実にを行う。

- 不完全な断熱施工を行うと配管等表面が結露して、露たれ等が発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因となります。
- 接続部の断熱施工は、気密試験後に行ってください。

ドレン配管は、据付け工事説明書に従って確実に排水するように施工し、結露が生じないように保温すること。

- 配管工事に不備があると、水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になることがあります。

据付け台等が傷んだ状態で放置しない。

- 傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、ケガ等の原因になることがあります。

エアコンを水洗いしない。

- 感電の原因になることがあります。

配管接続部には点検口を設置する。

- 天井内及び埋設配管の接続部には、点検が可能なように点検口等を設けてください。

電気工事をする前に

⚠注意

設置場所(水気のある場所等)によっては漏電遮断器を取付ける。

- 漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になることがあります。

電源配線は、電流容量に合った規格品の電線を使用すること。

- 漏電や発熱・火災の原因になることがあります。

電源配線は張力が掛からないように配線工事をする。

- 断線したり、発熱・火災の原因になることがあります。

アース工事を行う。

- アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

正しい容量のヒューズを使用する。

- 大きな容量のヒューズや針金・銅線を使用すると故障や火災の原因となる場合があります。

試運転をする前に

⚠注意

運転を開始する12時間以上前に電源を入れる。

- 電源を入れてすぐ運転開始すると、故障の原因になることがあります。シーズン中は電源を切らないでください。

パネルやガードを外した状態で運転をしない。

- 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。

フィルターを外したまま運転をしない。

- 内部にゴミが詰まり、故障の原因になることがあります。

試運転以外での長時間の運転はおやめください。

- 建築中の現場などで長時間運転しますと、ほこりやにおいが付着する場合があります。

濡れた手でスイッチを操作しない。

- 感電の原因になることがあります。

運転中の冷媒配管に素手で触れない。

- 運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷ややけどになる恐れがあります。

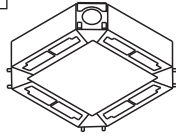
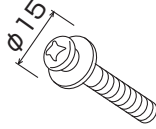

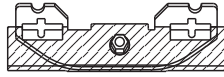
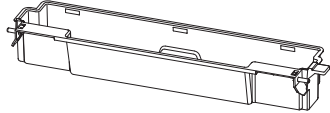
運転停止後、すぐに電源を切らない。

- 必ず5分以上待ってください。水濡れや故障の原因になることがあります。

化粧パネル取付時に本据付工事説明書を使用しますので、必ず保管してください。

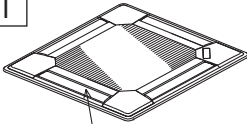
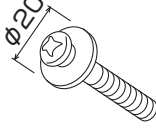
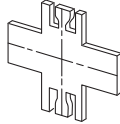
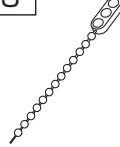


1. 部品の確認

自動清掃ユニット (この箱の中には本説明書と下記部品が入っています。)

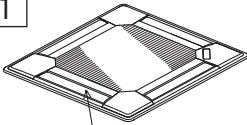
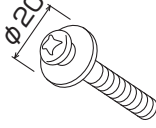
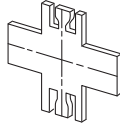
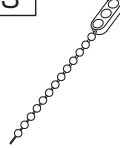



品名	① 自動清掃ユニット	② 座付ネジ	③ ネジ	④ 化粧パネル固定用金具
個数	1	4 M5×0.8×25	8 M5×0.8×12	4 断熱材付き
形状				
				⑤ ダストボックス
				1 

化粧パネル (自動清掃ユニットとセットで御購入頂いた化粧パネルには下記部品が入っています。)

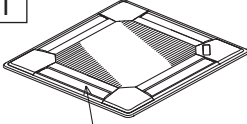
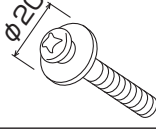
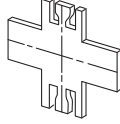




標準パネルの場合

品名	⑥ 化粧パネル	⑦ 座付ネジ	⑧ 据付用ゲージ	⑨ ファスナー	⑩ ネジ	⑪ ネジ
個数	1	4 M5×0.8×25	1	3	1 4×12	1 M5×10
形状	 上下風向ベーン		 (4分割にして使用)		 ※使用しません	

ムーブアイパネルの場合

品名	⑥ 化粧パネル	⑦ 座付ネジ	⑧ 据付用ゲージ	⑨ ファスナー	⑩ ネジ	⑪ ネジ
個数	1	4 M5×0.8×25	1	3	1 4×12	1 M5×10
形状	 上下風向ベーン		 (4分割にして使用)			
						⑫ ムーブアイコーナパネル
						1 

人感ムーブアイパネルの場合

品名	⑥ 化粧パネル	⑦ 座付ネジ	⑧ 据付用ゲージ	⑨ ファスナー	⑩ ネジ	⑪ ネジ
個数	1	4 M5×0.8×25	1	3	1 4×12	1 M5×10
形状	 上下風向ベーン		 (4分割にして使用)			
						⑫ 人感ムーブアイコーナパネル
						1 

※上下風向ベーンに、無理な力を絶対に加えないでください。故障の原因となります。

※人感ムーブアイコーナパネル⑫のレンズ部分に、無理な力を絶対に加えないでください。故障の原因となります。

2. 吹出口の配置選択

この化粧パネルは、吹出方向を11パターン選択することができます。

吹出方向に応じて、天井高さの設定を実施してください。

※工場出荷時の状態

- 吹出口数 ————— 4方向
- 天井高さ(風量) ———— 標準

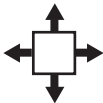
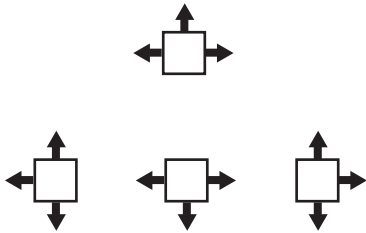
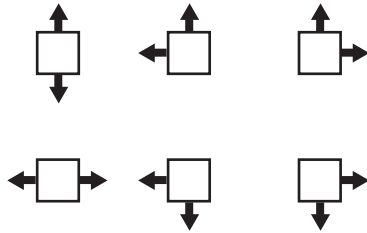
●吹出方向のパターンを選択します。1方向吹出しはできません。

※吹出口数を変更する場合は、別売の吹出口シャッタープレートを手配してください。

吹出口シャッタープレートは、室内ユニット本体に取付けますので、必ず自動清掃ユニットを室内ユニット本体へ取付ける前に作業してください。

※高温、多湿環境での2方向選定は行わないでください。

(露付き、露たれの原因になります)

	4方向	3方向	2方向
吹出方向のパターン	(1パターン) 工場出荷時の状態 	(4パターン) ユニット本体の吹出口の1ヶ所をシャッタープレートでふさぐ 	(6パターン) ユニット本体の吹出口の2ヶ所をシャッタープレートでふさぐ 

●吹出口数及び据付ける天井高さに応じて設定を変更します。

※変更しないと室内ユニットの異常が発生したり、お客様に不快感を与える恐れがあります。

1) 組合せ室内ユニットがスリムエアコン(スリムKは除く)の場合

リモコンからの設定となりますので、リモコンに付属してあります据付工事説明書の **機能選択** の項もしくは、ユニット本体に付属してあります据付工事説明書の **リモコンによる機能選択** の項をご覧ください。

2) 組合せ室内ユニットがマルチエアコン(スリムKを含む)の場合

室内ユニット本体のアドレス基板のスライドスイッチを下表により設定してください。

<天井高さ及び吹出口数の対応>

ユニット本体形名		22~90形			112~160形		
SWB	SWA	1 (低天井)	2 (標準)	3 (高天井)	1 (低天井)	2 (標準)	3 (高天井)
	4方向	2.5m	2.7m	3.5m	2.7m	3.2m	4.5m
	3方向	2.7m	3.0m	3.5m	3.0m	3.6m	4.5m
	2方向	3.0m	3.3m	3.5m	3.3m	4.0m	4.5m

※ 印部以外はスライドスイッチの設定が必要です。

(印部は、工場出荷時の状態です。)

●SWA — 天井高さ対応 ●SWB — 吹出口数対応

※高温、多湿環境での静音設定は行わないでください。

(露付き、露たれの原因になります。)

- 据付環境によってダストボックスごみ捨てサインの時期を変更します。

工場出荷時の設定は、一般的な事務所や店舗を想定しており、約5年に1回ダストボックスのごみ捨てサインが表示されます。

据付環境によってダストボックスが満杯になる時期に差がありますので、下記表に従って環境に応じた設定に変更してください。

据付環境	スリムエアコン (スリムKは除く)の場合		マルチエアコン (スリムKを含む)の場合		ダストボックスごみ捨てサイン表示時期	工場出荷 設定
	リモコンからの機能選択設定		室内ユニット基板設定			
	モード番号	設定番号	SW1-2	SW1-3		
ホコリが多い環境	07	01	ON	OFF	清掃回数300回またはファン運転積算3,000時間	
標準		02	ON	ON	清掃回数1,000回またはファン運転積算10,000時間	●
ホコリが少ない環境		03	OFF	ON	清掃回数1,500回またはファン運転積算15,000時間	

〈設定方法〉

リモコンからの機能選択設定は、リモコンに付属してあります据付工事説明書の「機能選択」の項もしくは、室内ユニット本体に付属してあります据付工事説明書の「リモコンによる機能選択」の項をご覧ください。

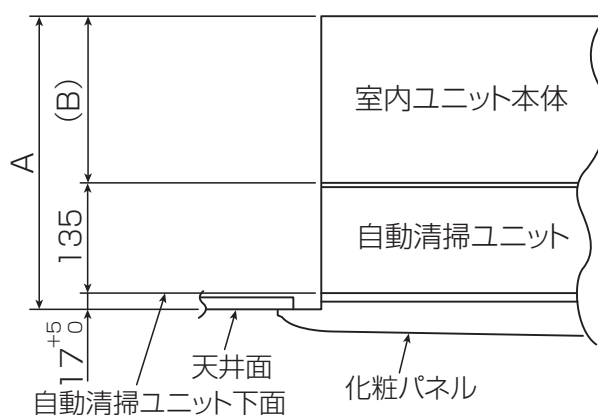
3. 室内ユニット本体の取付

- 自動清掃ユニットを取付ける前に室内ユニット本体の現地配線(電源、内外接続線、リモコン線等)を施工してください。
- 自動清掃ユニットを取付けた後では作業ができません。
- 室内ユニット本体の据付工事説明書を参照し、取付けてください。取付けに際し、以下の点にご注意ください。

(1)天井開口穴が下記の範囲内か確認します。

860×860～910×910

(2)据付に必要な寸法は下図のようになります。

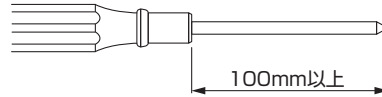


室内ユニット	A	(B)
小形機種	393	241
大形機種	433	281

※但し、ユニット天面と天井スラブ等の間は、10～15開けてください。

4. 取付前の準備

※本体取付/取外しの際には、ドライバービット長さ100mm以上のものを使用してください。

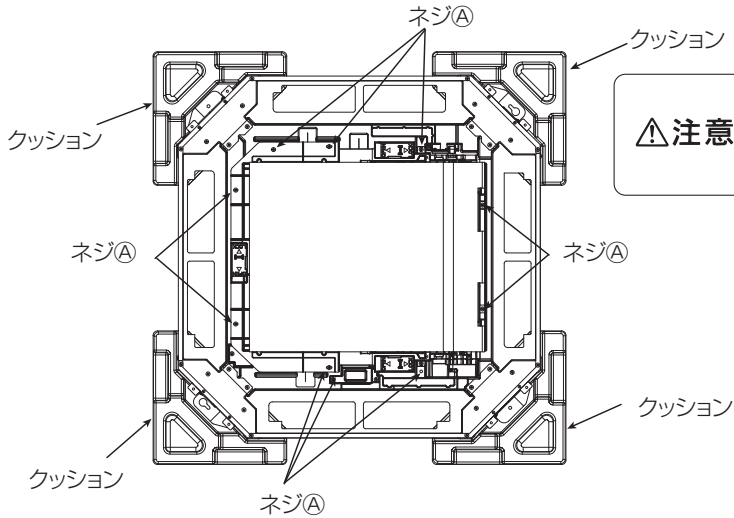


(1) 自動清掃ユニット ①

- 梱包で使用されていたクッションを利用し、自動清掃ユニット ①を下図のように置きます。
(クッションを利用されずに置かれますと電気品箱破損の恐れがあります)

フィルターレールユニット部の取外し

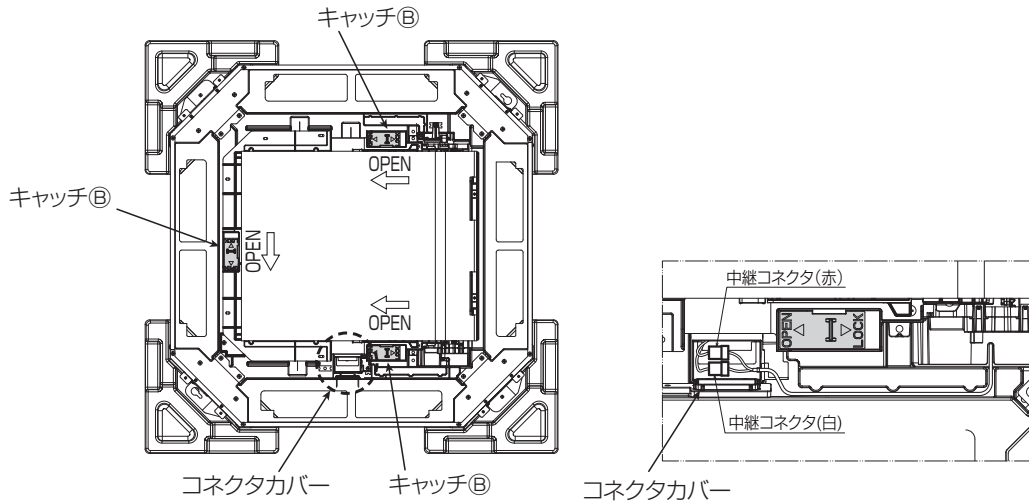
- ネジ①(緑色)10本を取外します。



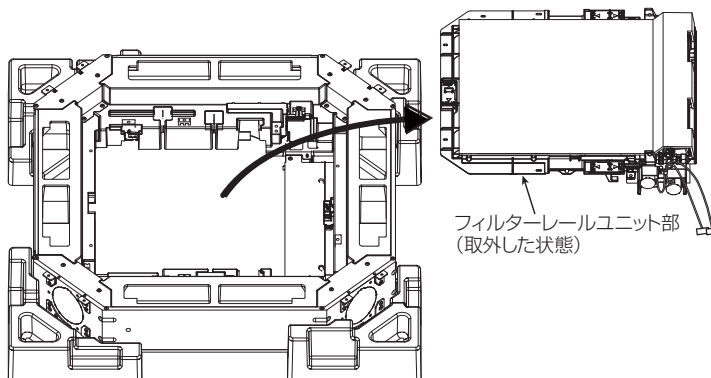
△注意

- ネジ①(緑色)以外のネジを取外さないでください。
- フィルター自動清掃が正常に動作しない原因となります。

- コネクタカバーを開け、中継コネクタ(赤/白)を取外します。
- キャッチ②(緑色)3箇所をOPEN方向へスライドします。



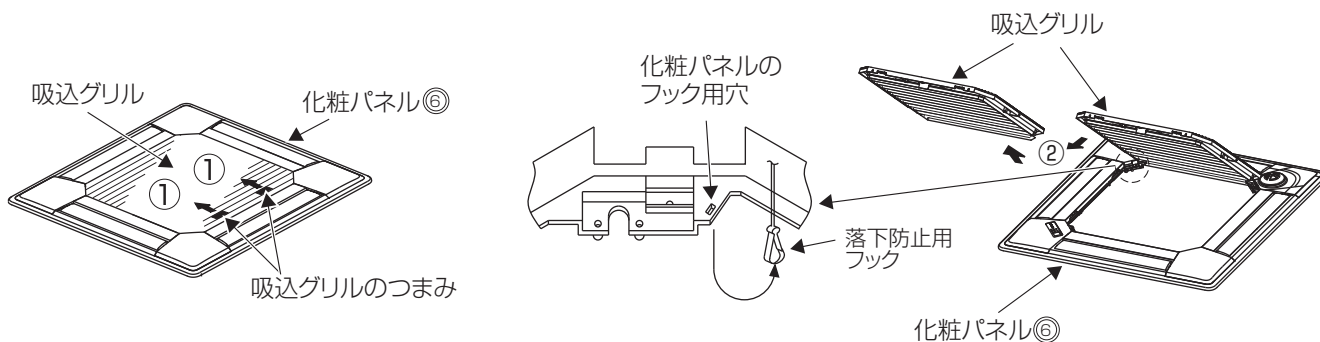
- フィルターレールユニット部を取外します。



(2) 化粧パネル⑥

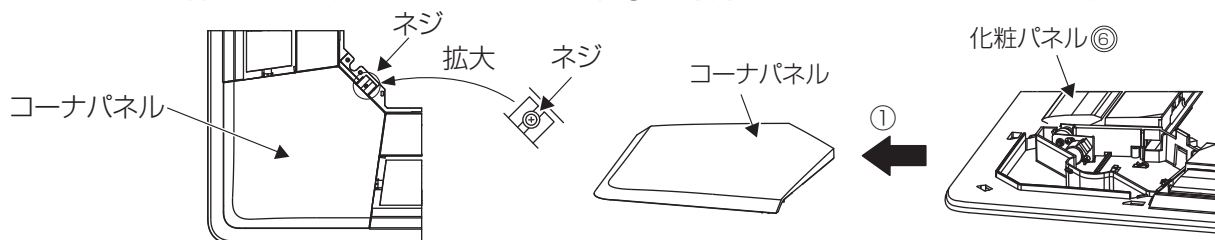
吸込グリルの取外し

- 吸込グリルのつまみを矢印 ① の方向にスライドし、吸込グリルを開けます。
- 落下防止用のフックを化粧パネル⑥ から外します。
※吸込グリル側のフックは外さないでください。
- 吸込グリルが開いた状態で矢印 ② の方向に動かし、吸込グリルのヒンジ部を化粧パネル⑥ から外します。



コーナパネルの取外し

- コーナ部のネジを外し、コーナパネルを矢印 ① の方向へスライドし、コーナパネルを外します。

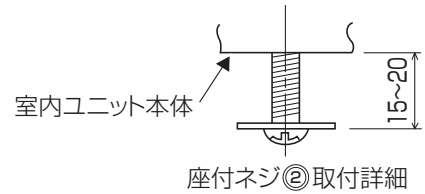


5. フィルター自動清掃ユニットの取付

(1) 自動清掃ユニット① 仮止め

※必ず二人で作業を実施してください。

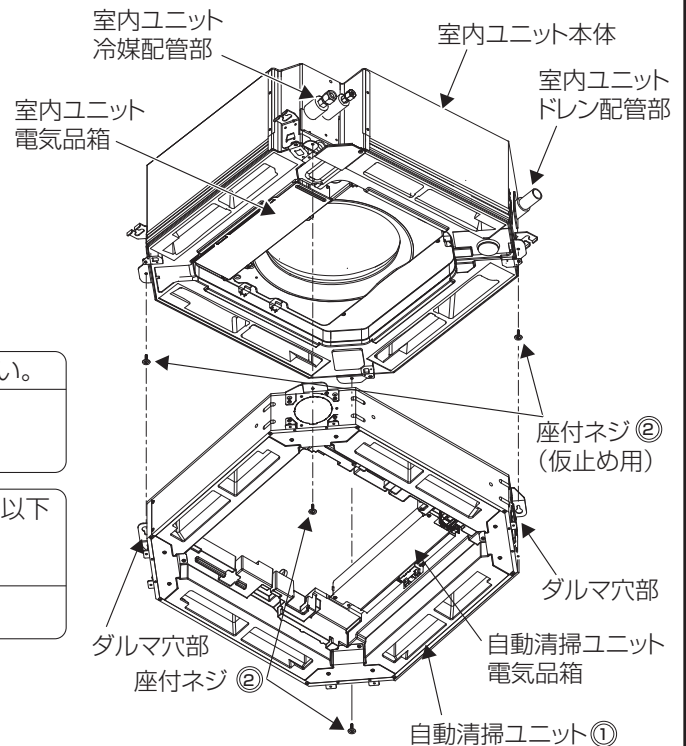
- 室内ユニット本体の右図の位置(ドレン配管コーナ部とその対角)に付属の座付ネジ②を2本取付けます。
- 自動清掃ユニット①のダルマ穴部を座付ネジ②に引掛け仮止めします。
(自動清掃ユニットの電気品箱が室内ユニット電気品箱の対辺側になるように取付けてください)



(2) 自動清掃ユニット① 固定

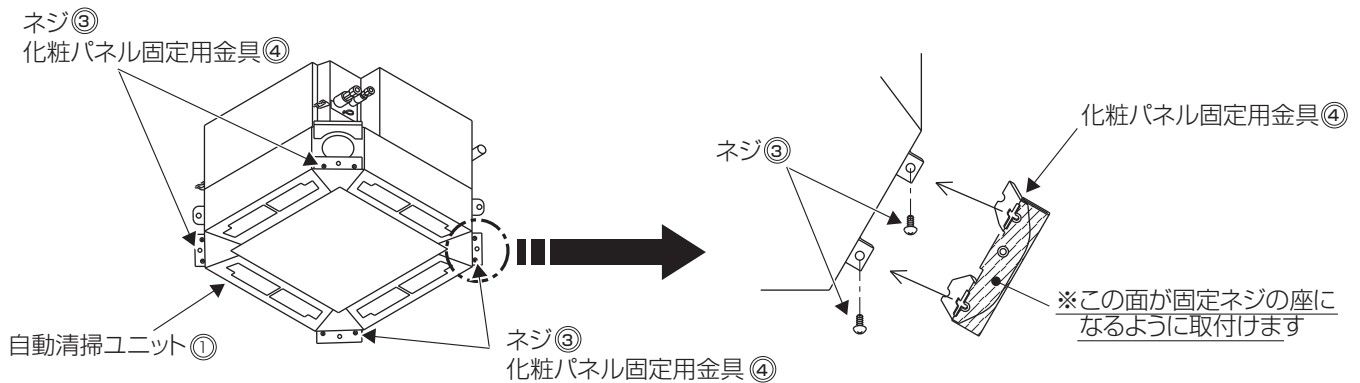
- 仮止めした座付きネジ②2本と、残りの座付きネジ②2本を仮締めし、自動清掃ユニット①の位置が合ったのを確認した後、座付きネジ②4本を固定します。

⚠注意	4ヶ所の座付ネジ②の仮締めを行ってください。
	●仮締めせずに固定しますと、座付ネジ②が破損したり、風もれの原因になります。
⚠注意	座付ネジ②を締付ける際にはトルク4.8N・m以下で締付け、インパクトドライバーは絶対に使用しないでください。
	●部品が破損する原因となります。



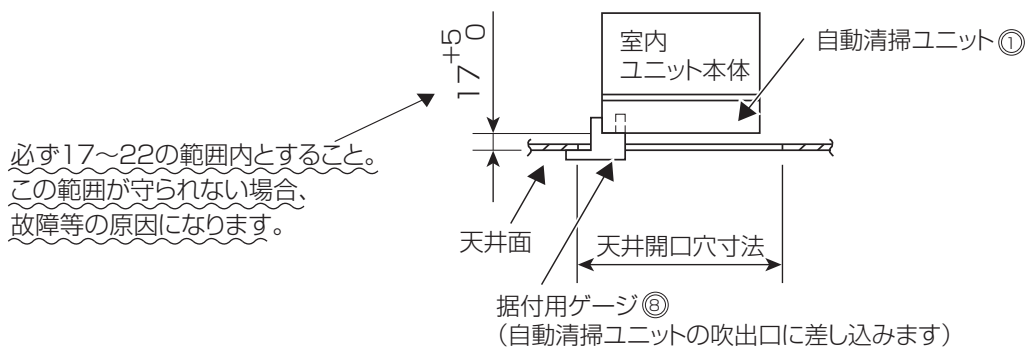
(3) 化粧パネル固定用金具④の取付

- 自動清掃ユニット①の各コーナ部に、化粧パネル固定用金具④4ヶをネジ③8本にて固定します。(下図参照)



(4) 据付高さの調整

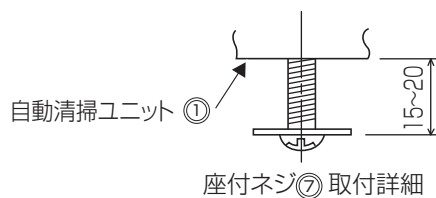
- 下図のように化粧パネル付属の据付用ゲージ⑧にて、天井面と自動清掃ユニット①の高さ位置を再調整します。



6. 化粧パネル⑥の取付

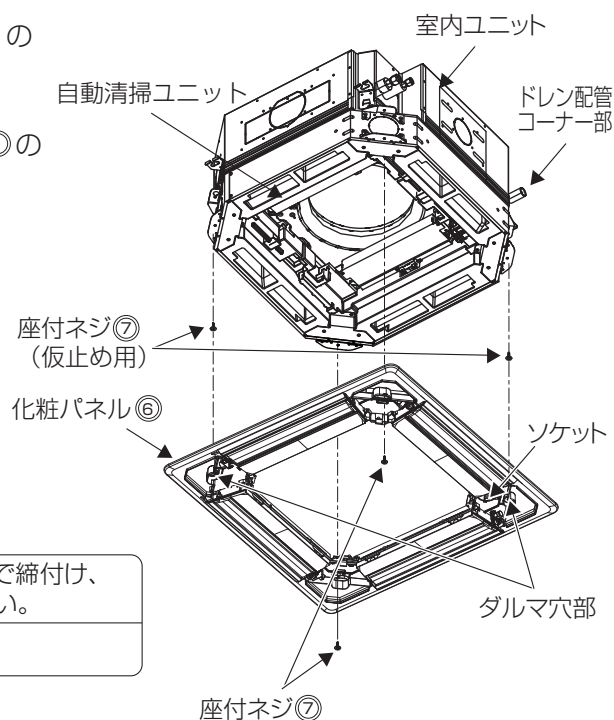
(1) 化粧パネル⑥ 仮止め

- 自動清掃ユニット①の右図の位置(ドレン配管コーナ部とその対角)に付属の座付ネジ⑦を2本取付けます。
- 室内ユニット本体のドレン配管のコーナ部と化粧パネル⑥のダルマ穴部にて仮止めをします。
※この時、化粧パネル⑥の各配線及び自動清掃ユニット①の各配線を化粧パネル⑥と自動清掃ユニット①の間にはさまないようにすること。



(2) 化粧パネル⑥ 固定

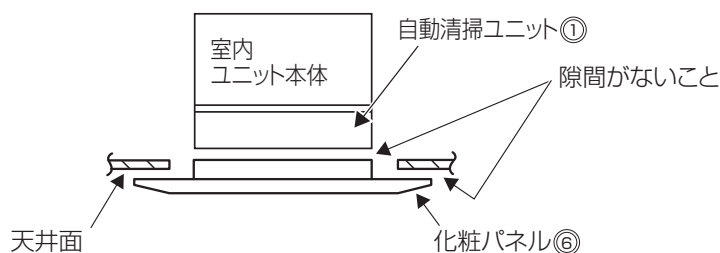
- 仮止めした座付ネジ⑦2本と、残りの座付ネジ⑦2本を締付けて、自動清掃ユニット①に化粧パネル⑥を固定します。
※この時、自動清掃ユニット①と化粧パネル⑥、及び化粧パネル⑥と天井面との間に隙間がないようにします。



⚠注意

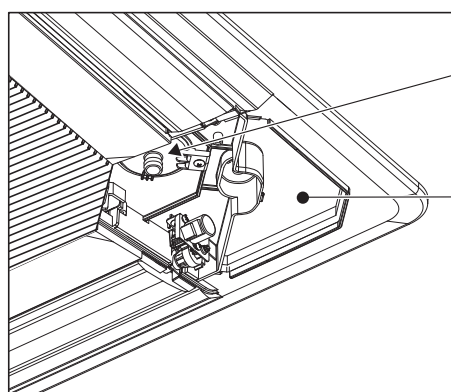
座付ネジ⑦を締付ける際にはトルク4.8N・m以下で締付け、インパクトドライバーは絶対に使用しないでください。

- 部品が破損する原因となります。



- 天井との隙間を生じた場合

化粧パネル⑥を取付けたまま、ユニット本体の据付け高さを微調整し、天井との隙間を無くしてください。



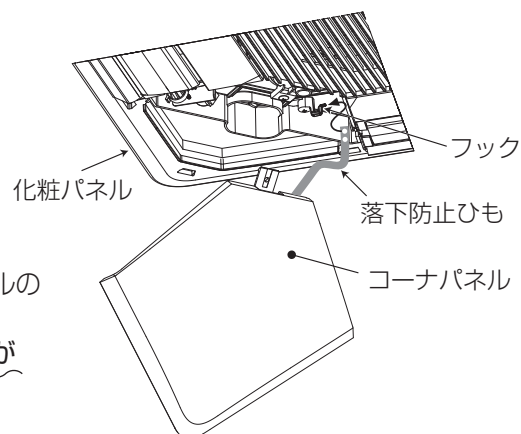
ソケット

カンタンコーナポケットよりスパナ等の一般工具にて、室内ユニット本体のナットを微調整します。

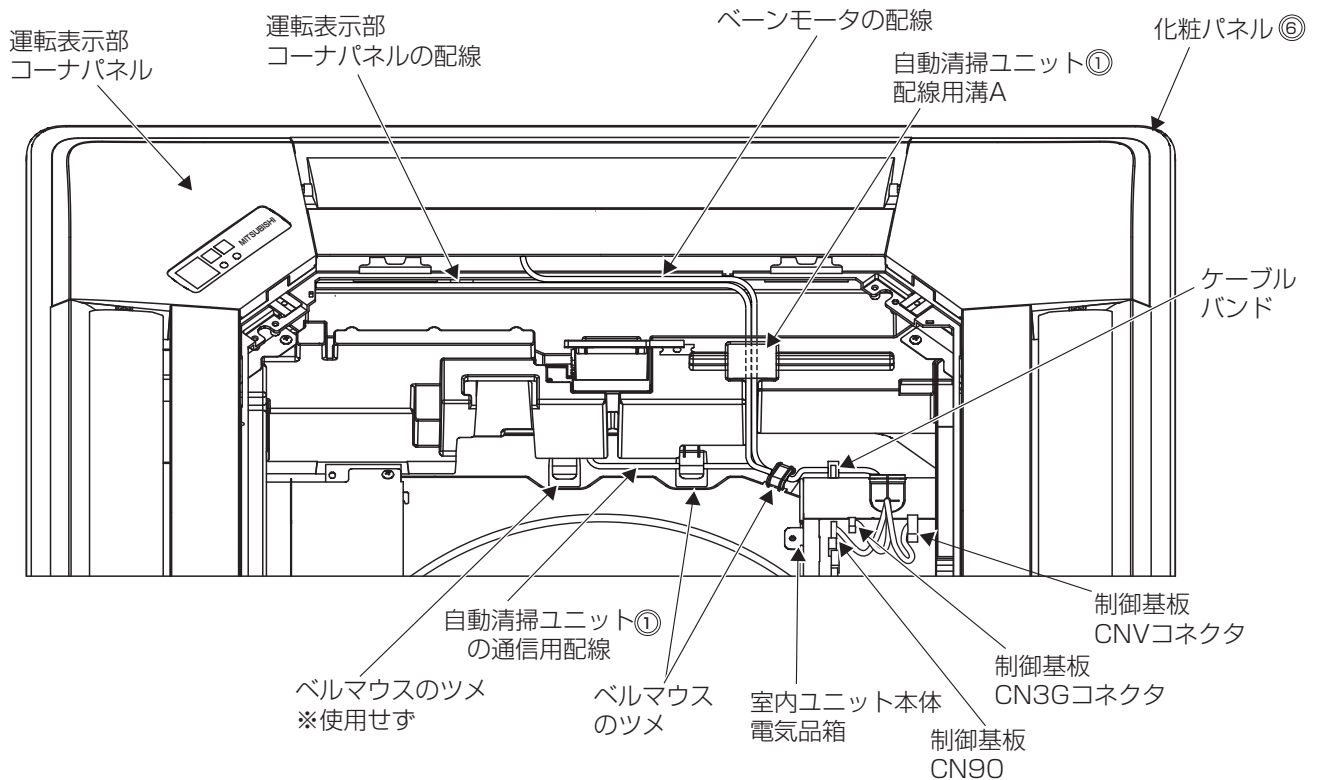
7. コーナパネルの取付

コーナパネルの取付は、4. 取付前の準備 (2) 化粧パネル の項と逆手順で行います。

- 落下防止用のひもが付いているコーナパネルは、ひもを確実に化粧パネルのフックに引っ掛けてください。
※確実に引っ掛けていめせんと、コーナパネルが運転中に落下する恐れがあります。



8. 配線接続



(1) ベーンモータの配線接続

- 化粧パネル⑥のベーンモータの配線(白色20極コネクタ1ヶ)を室内ユニット本体制御基板のCNVコネクタに必ず接続します。
- 配線はたるみの無いように自動清掃ユニット①の配線用溝Aに通し、室内ユニット本体のベルマウスのツメ(1ヶ所)に引掛けて、ケーブルバンドで固定します。

(2) 運転表示部の配線接続 (標準取付)

- 運転表示部コーナパネルの配線(白色9極コネクタ1ヶ)を室内ユニット本体 制御基板のCN90コネクタに必ず接続します。
- 配線はたるみの無いように自動清掃ユニット①の配線用溝Aに通し、室内ユニット本体のベルマウスのツメ(1ヶ所)に引掛けて、ケーブルバンドで固定します。

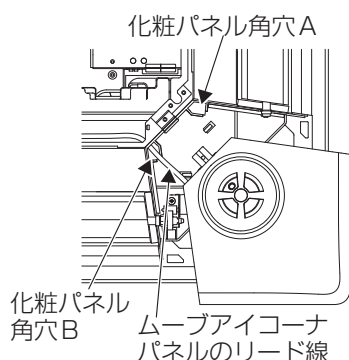
(3) 自動清掃ユニット①の通信用配線接続

- 自動清掃ユニット①の通信用配線(青色4極コネクタ1ヶ)を室内ユニット本体制御基板のCN3Gコネクタに必ず接続します。
- 配線はたるみの無いように室内ユニット本体のベルマウスのツメ(2ヶ所)に引掛けて、ケーブルバンドで固定します。

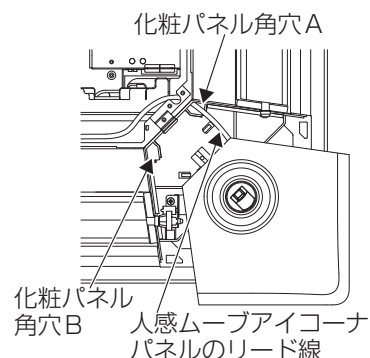
(4) (人感)ムーブアイコーナパネル⑫の配線接続 (標準取付)

- ムーブアイコーナパネルのリード線を化粧パネルの角穴Bに通します。
人感ムーブアイコーナパネルのリード線を化粧パネルの角穴Aに通します。

■ムーブアイコーナパネルの場合

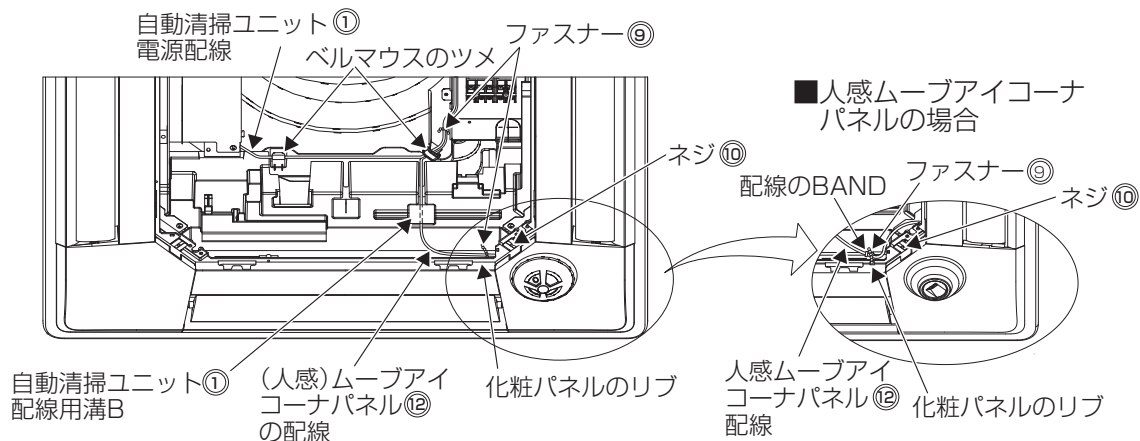


■人感ムーブアイコーナパネルの場合



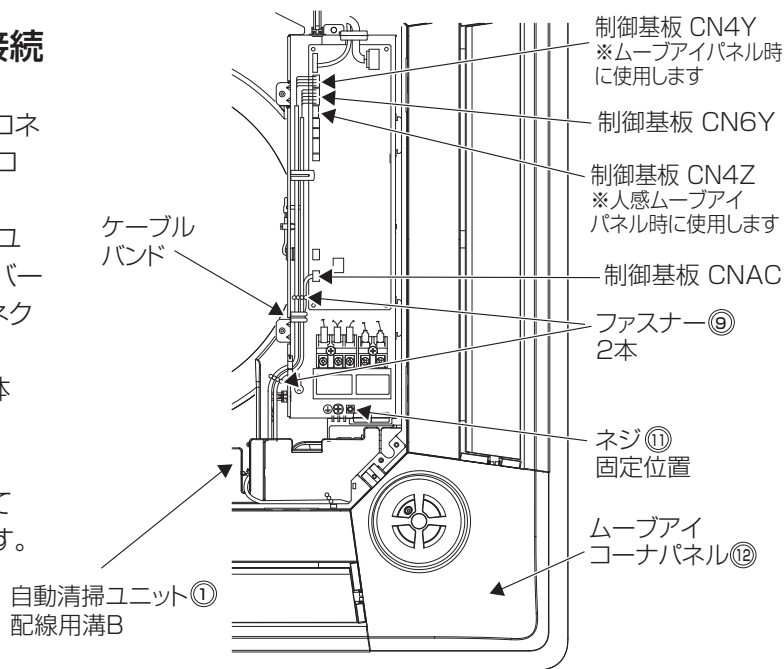
(4) (人感)ムーブアイコーナパネル⑫の配線接続(標準取付)のつぎ

- (人感)ムーブアイコーナパネル⑫の配線(白色4極コネクタ1ヶ、赤色6極コネクタ1ヶ)を室内ユニット本体制御基板のCN4Y又はCN4Z及びCN6Yコネクタに必ず接続します。
※マルチエアコン(スリムKを含む)の場合、ユニット制御基板のCN6Yコネクタにはカバーコネクタが挿入されています。カバーコネクタを取り外し、接続してください。
- (人感)ムーブアイコーナパネル⑫の配線はたるみの無いように、化粧パネルのリブにファスナー⑨で固定した後自動清掃ユニット①の配線用溝Bに通し、室内ユニット本体のベルマウスのツメ(1ヶ所)に引掛けて、室内ユニット本体の配線と合わせてファスナー⑨で固定します。
- (人感)ムーブアイコーナパネルは付属のネジ⑩(4×12)で化粧パネル⑥に固定します。



(5) 自動清掃ユニット①の電源配線接続

- 自動清掃ユニット①の電源配線(白色3極コネクタ1ヶ)をユニット本体制御基板のCNACコネクタに必ず接続します。
※マルチエアコン(スリムKを含む)の場合、ユニット制御基板のCNACコネクタにはカバーコネクタが挿入されています。カバーコネクタを取外し、接続してください。
- 配線はたるみの無いように室内ユニット本体のベルマウスのツメ(2ヶ所)を通し、室内ユニット本体のケーブルバンドで固定します。
- 配線CNACのアース線は付属のネジ⑪にて室内ユニット本体の電気品箱内に固定します。



(6) 室内ユニット本体制御基板フィルター自動清掃ユニット接続のスイッチ設定

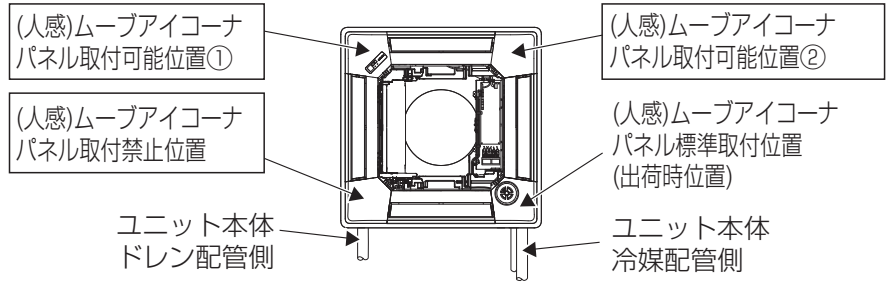
⚠注意

本スイッチ設定は、必ず電源OFF時に実施してください。電源投入時にスイッチ設定を読み込みます。
※マルチエアコン(スリムKを含む)の内別受電方式の場合は、必ず室内ユニット/室外ユニット双方の電源OFF時に実施してください。

- スリムエアコン(スリムKは除く)の場合
SW5(機能設定)“5”をON(フィルター自動清掃ユニット接続有)に切替えます。
- マルチエアコン(スリムKを含む)の場合
SW3(機能設定)“3”をON(フィルター自動清掃ユニット接続有)に切替えます。
- 室内ユニット本体の電気品箱の電気品カバーを元通りに取付けます。
※ワイヤレスリモコンをご使用のときは「11.ワイヤレスリモコン(ユニット運転用)対応の場合」の設定後に電気品カバーを元通りに取付けてください。

9. (人感)ムーブアイコーナパネル^⑫ 取付(標準取付位置以外への取付の場合)

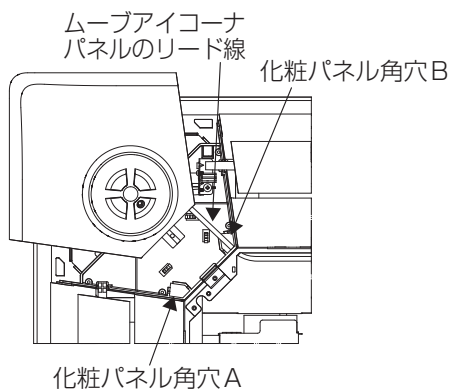
- (人感)ムーブアイコーナパネル^⑫は標準取付位置以外の右記2ヶ所にも取付け可能です。



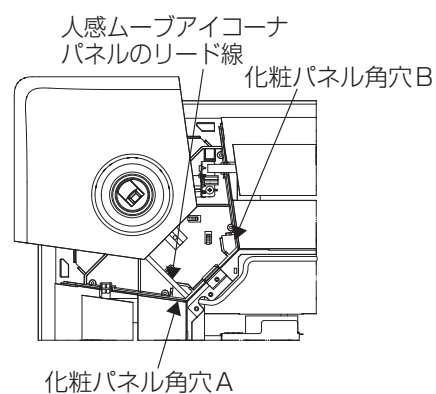
(1) 取付可能位置①への取付の場合

- ムーブアイコーナパネルのリード線を化粧パネルの角穴Bに通します。
(人感)ムーブアイコーナパネルのリード線を化粧パネルの角穴Aに通します。

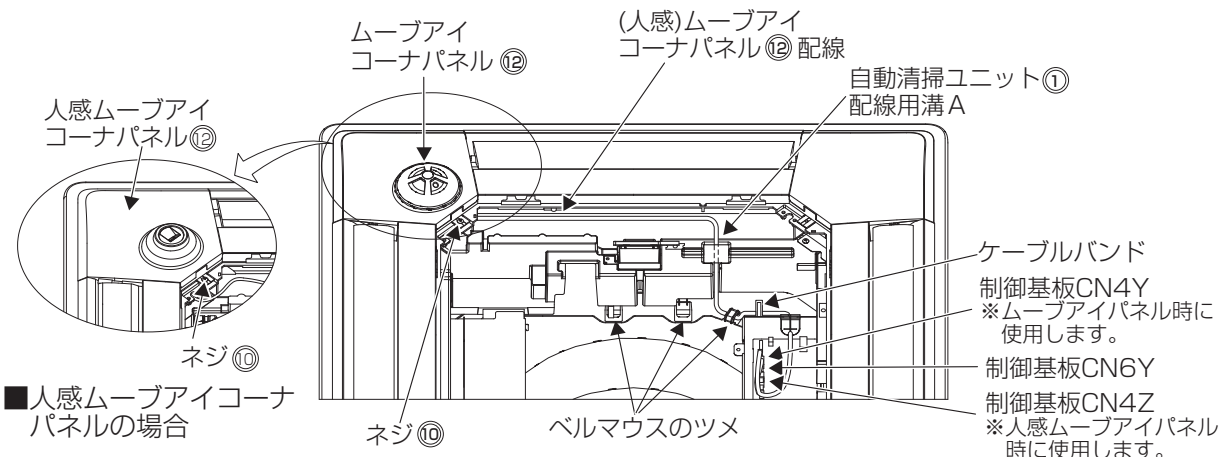
■ムーブアイコーナパネルの場合



■人感ムーブアイコーナパネルの場合



- (人感)ムーブアイコーナパネル^⑫の配線(白色4極コネクタ1ヶ、赤色6極コネクタ1ヶ)を室内ユニット本体制御基板のCN4Y又はCN4Z及びCN6Yコネクタに必ず接続します。
※マルチエアコン(スリムKを含む)の場合、ユニット本体制御基板のCN6Yコネクタにはカバーコネクタが挿入されています。カバーコネクタを取り外し、接続してください。
- (人感)ムーブアイコーナパネル^⑫の配線はたるみの無いように自動清掃ユニット^①の配線用溝Aに通し、室内ユニット本体のベルマウスのツメ(1ヶ所)に引掛けて、ケーブルバンドで固定します。
- 余った配線は室内ユニット本体の電気品箱内に収めます。
- (人感)ムーブアイコーナパネルは付属のネジ^⑩(4×12)で化粧パネルに固定します。

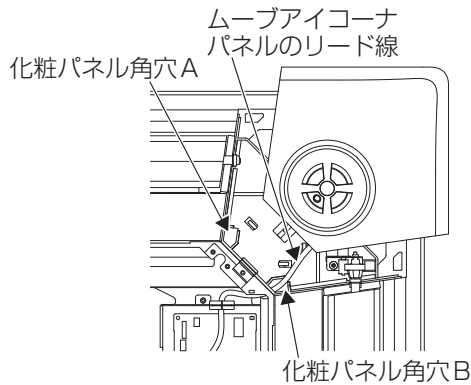


9. (人感)ムーブアイコーナパネル^⑫取付(標準取付位置以外への取付の場合) のつづき

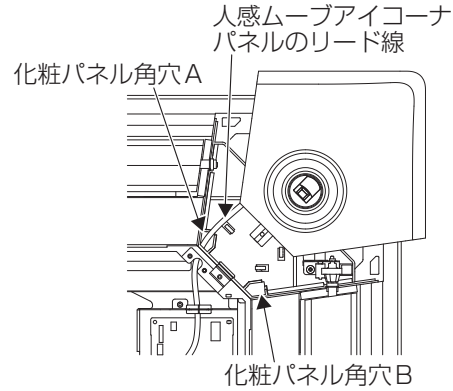
(2)取付可能位置^②への取付の場合

- ムーブアイコーナパネルのリード線を化粧パネルの角穴Bに通します。
(人感)ムーブアイコーナパネルのリード線を化粧パネルの角穴Aに通します。

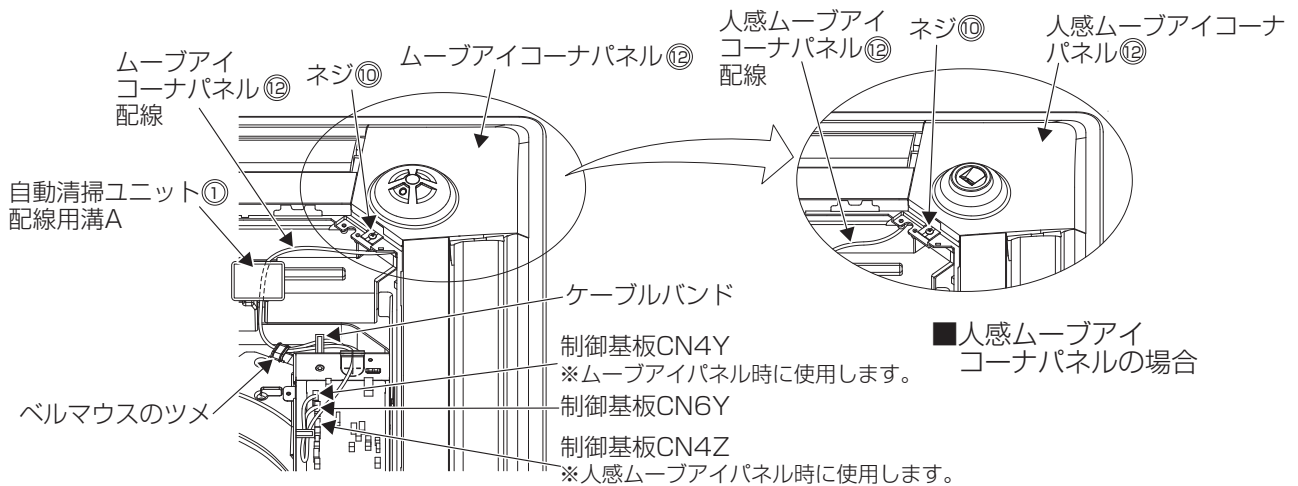
■ムーブアイコーナパネルの場合



■人感ムーブアイコーナパネルの場合



- (人感)ムーブアイコーナパネル^⑫の配線(白色4極コネクタ1ヶ、赤色6極コネクタ1ヶ)を室内ユニット本体制御基板のCN4Y又はCN4Z及びCN6Yコネクタに必ず接続します。
※マルチエアコン(スリムKを含む)の場合、ユニット本体制御基板のCN6Yコネクタにはカバーコネクタが挿入されています。
カバーコネクタを取り外し、接続してください。
- (人感)ムーブアイコーナパネル^⑫の配線はたるみの無いように自動清掃ユニット^①の配線用溝Aに通し、室内ユニット本体のベルマウスのツメ(1ヶ所)に引掛けて、ケーブルバンドで固定します。
- 余った配線は室内ユニット本体の電気品箱内に収めます。
- (人感)ムーブアイコーナパネルは付属のネジ^⑩(4×12)で化粧パネルに固定します。



- スリムエアコン(スリムKは除く)との組合せにおいて(人感)ムーブアイコーナパネル位置を標準取付位置以外へ変更した場合は必ずリモコンから機能選択を行ってください。

機能選択の手順、操作方法はリモコンに付属の据付工事説明書(設定編)を参照ください。

01～04号機または全てを選択して設定する

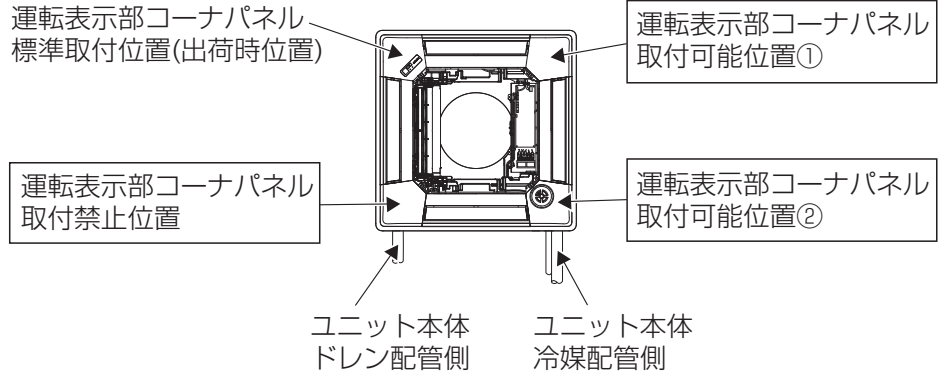
- 単独システムの室内ユニットに設定する場合は、01号機を選択して設定します。
- 同時ツイン、トリプル、フォーの各室内ユニットごとに設定する場合は、01～04号機をそれぞれに選択して設定します。
- 同時ツイン、トリプル、フォーの各室内ユニットすべて同一に設定する場合は、全てを選択して設定します。

モード	設定内容	モード番号	設定番号	初期設定	チェック欄	備考
(人感)ムーブアイ取付位置	取付可能位置 ^①	12	1			
	取付可能位置 ^②		2			
	標準取付位置		3	○		

【お願い】 工事完了後、機能選択より室内ユニットの機能を変更した場合は、必ず全ての設定内容を上表のチェック欄に○印等で記入してください。

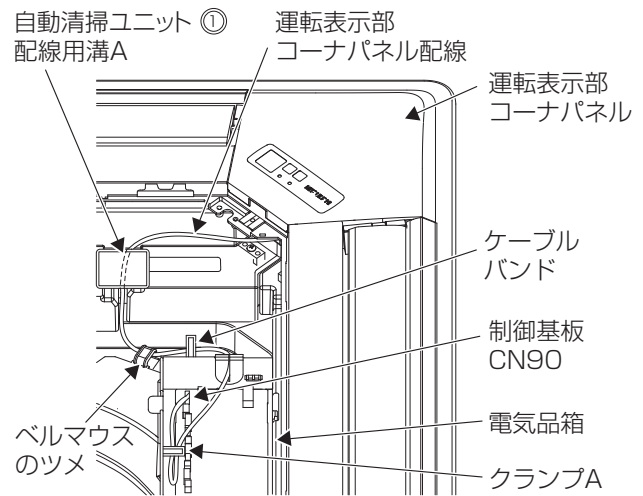
10. 運転表示部コーナパネル取付(標準取付位置以外への取付の場合)

- 運転表示部コーナパネルは標準取付位置以外の右記2ヶ所にも取付け可能です。



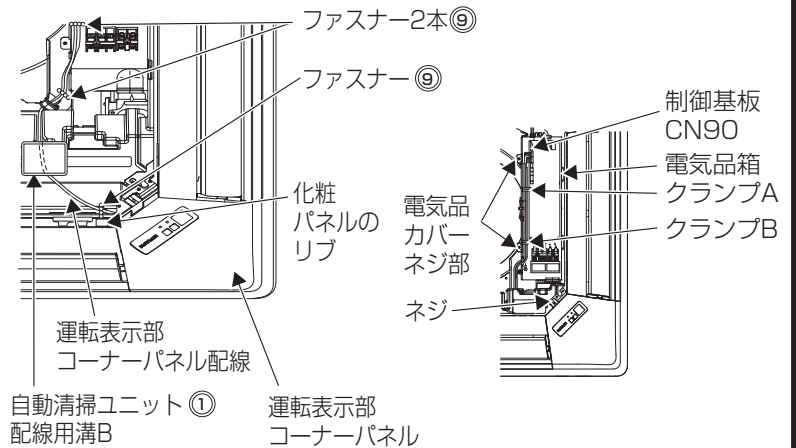
(1) 取付可能位置①への取付の場合

- 運転表示部コーナパネルの配線(白色9極コネクタ1ヶ)を室内ユニット本体制御基板のCN90コネクタに必ず接続します。
- 配線はたるみの無いように自動清掃ユニット①の配線用溝Aに通し、室内ユニット本体のベルマウスのツメ(1ヶ所)に引掛けて、ケーブルバンドで固定します。
- 余った配線は室内ユニット本体の電気品箱内のクランプAに固定します。
- コーナパネルをネジで固定します。



(2) 取付可能位置②への取付の場合

- 運転表示部コーナパネルの配線(白色9極コネクタ1ヶ)を室内ユニット本体制御基板のCN90コネクタに必ず接続します。
- 配線はたるみの無いように、化粧パネルのリップにファスナー⑨にて固定します。
- 配線はたるみの無いように自動清掃ユニット①の配線用溝Bに通し、室内ユニット本体のベルマウスのツメ(1ヶ所)に引掛けて、室内ユニット本体の配線と合わせてファスナー⑨で固定します。
- コーナパネルをネジで固定します。



11. ワイヤレスリモコン(ユニット運転用)対応の場合

- ペアナンバー設定とは、ワイヤレスリモコンで操作するユニットを指定するための設定です。
特に指定を必要としない場合は、本設定は不要です。
(工場出荷時は室内ユニット側(受光部側)及びワイヤレスリモコン側のペアナンバーは“0”となっています)
- 指定が必要な場合は、室内ユニット側(受光部側)の設定とワイヤレスリモコン側の設定操作を行い、右表のように合わせます。

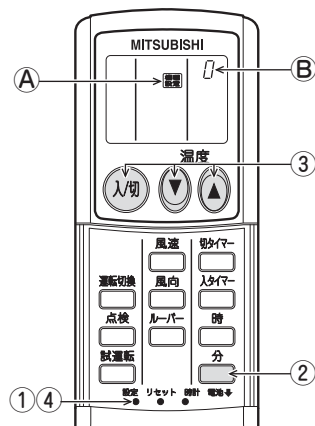
	室内ユニット側設定
ワイヤレスリモコン側 ペアナンバー設定	室内制御基板のジャンパー線(J41, J42)を切断します
0	切断せず
1	J41のみ切断
2	J42のみ切断
3~9	J41 & J42切断

11. ワイヤレスリモコン(ユニット運転用)対応の場合 のつづき

【ワイヤレスリモコンペアナンバーの設定操作】

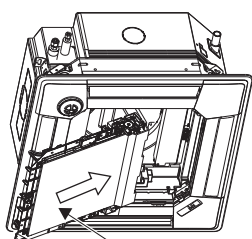
(工場出荷時は"無し" [No. 0])

- ① ボールペンなど先の細いもので(設定)ボタンを押してください。
A **機種設定** が点滅します。
- ② **分** ボタンを2回連続押してください。
B ペアナンバーが点滅します。
- ③ **▼**、**▲** ボタンを押して、ペアナンバーを設定してください。
 ※操作を間違えた場合は、**入切** ボタンを押し、② の操作からやり直してください。
- ④ ボールペンなど先の細いもので(設定)ボタンを押してください。
B ペアナンバーが3秒間点灯してから消えます。



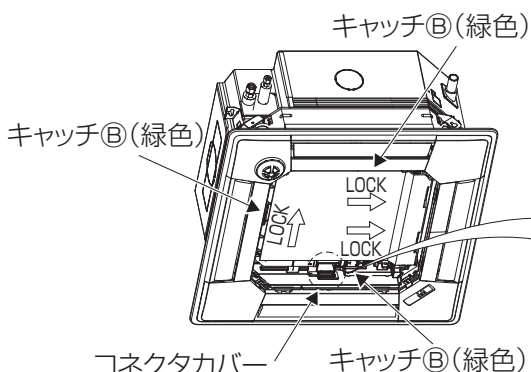
12. フィルターレールユニット部の取付

- フィルターレールユニット部を図示向きで自動清掃ユニット ① へ取付けます。
 ※ フィルターレールユニット部取付けの際に、中継コネクタ(赤/白)及びリード線をはさまないように注意してください。



フィルターレールユニット部

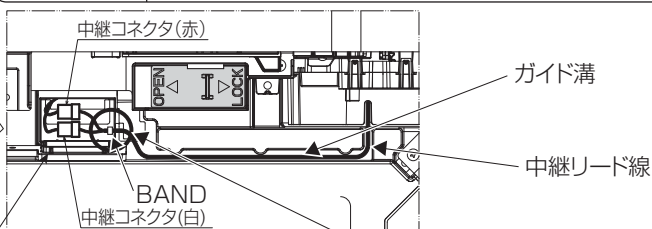
- キャッチB(緑色)3ヶ所をLOCK方向へスライドし、フィルターレールユニット部を仮固定します。
- 中継コネクタ(赤/白)を接続します。リード線をガイド溝に押し込みます。



⚠注意

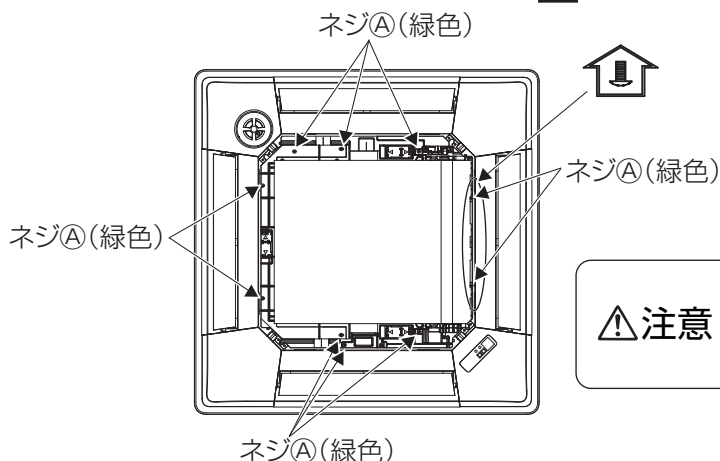
中継コネクタ(赤/白)接続してください。

中継コネクタはカチッと音がするまで差し込みます。
 ※接続が不十分の場合正常に動作しません。



コネクタカバー キャッチB(緑色) コネクタカバー BANDをコネクタカバー内へおさめる。

- コネクタカバーを閉め、ネジA(緑色)10本で自動清掃ユニット ① へ固定し、保護カバー(段ボール)を取外します。
 ※ ネジA(緑色)10本を固定する際は、**↑** マークがあるネジA(緑色)2本を最初に固定してください。



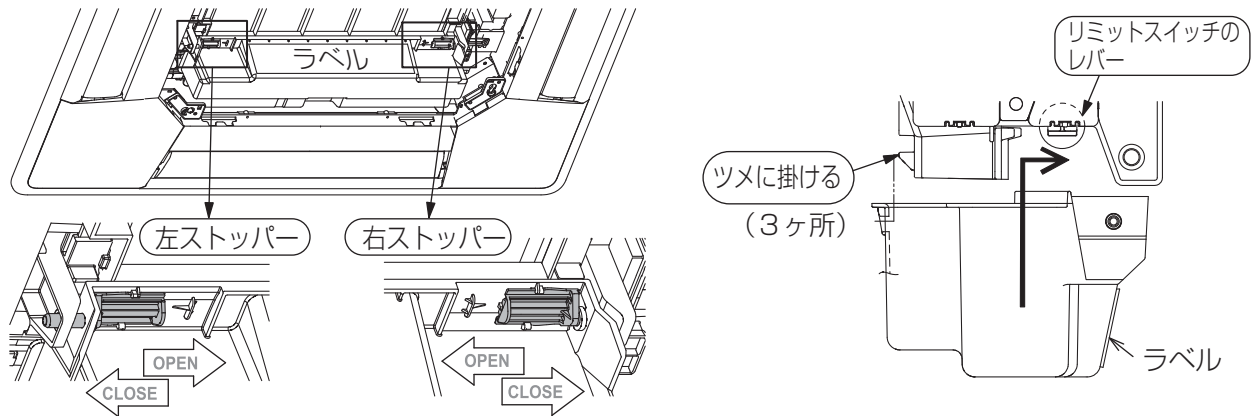
⚠注意

ネジA(緑色)10本すべて固定してください。

ネジの固定が不完全であると、正常に動作しない場合があります。

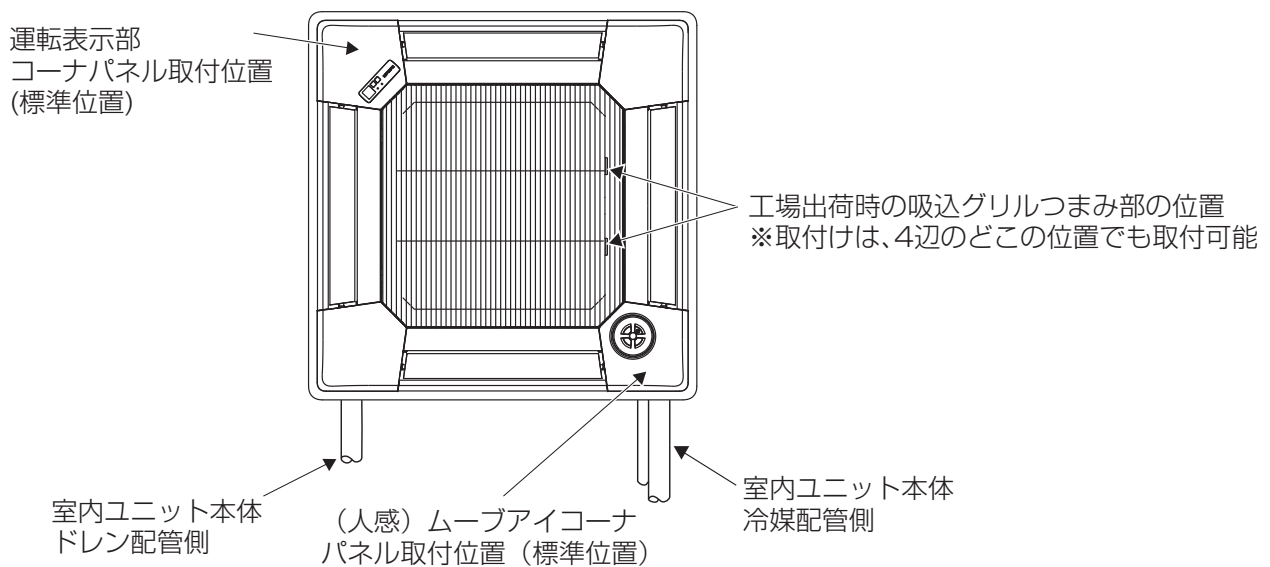
13. ダストボックス ⑤ の取付

- ダストボックス⑤を自動清掃ユニット①に以下の手順で取付けます。
 - 1)ダストボックス⑤の穴(3ヶ所)をツメ(3ヶ所)に引掛けます。
 - ※リミットスイッチレバーへの引掛りに注意すること。
 - 2)左右のストッパー(2ヶ所)を“CLOSE”の方向に“カチッ”と音がするまで差し込みます。(ダストボックス⑤にも取付方法を記載したラベルが貼ってあります。ご確認ください。)



14. 吸込グリルの取付

- 吸込みグリルの取付は、4. 取付前の準備 (2)化粧パネル の項と逆手順で行います。



15. 確認

- 室内ユニット本体と自動清掃ユニット①と化粧パネル⑥、化粧パネル⑥と天井面に隙間のないことを再確認します。
 - ※隙間があると露たれや露付の原因となります。
- 配線接続が確実にされていることを確認します。
 - ※接続されていないと上下ベーンが動かない、また露たれや露付の原因となります。
- ワイヤレスリモコン対応(別売)の場合、リモコンと室内ユニット本体のペアナンバーが合っていることを確認します。
- 自動清掃ユニット①の動作確認をしてください。(フィルター自動清掃ユニット 取扱説明書2.(3)を参照ください。)
 - ※自動清掃が動作しない場合は、**8. 配線接続**、**12. 自動清掃ユニット①の取付**、**13. ダストボックス⑤の取付**の作業を再確認してください。
- (人感)ムーブアイパネルの場合、(人感)ムーブアイの回転動作を確認してください。
 - ※(人感)ムーブアイが回転しない場合は、**8. 配線接続** の作業を再確認してください。

上記項目を確認した後、この説明書とユニット本体及び別売部品の説明書等の一式全てをお客様へ渡してください。その際、ユニット本体の取扱説明書に記載されたフィルターの清掃の説明を必ずお客様へしてください。